

平成 26 年度「代議員」立候補申込用紙

年 月 日

日本化学会 _____ 支部長 殿

氏名 _____ 印

私は、平成 26 年度「代議員」として立候補いたしますので、よろしく願いいたします。

- ・候補者氏名 _____
- ・会員番号 _____
- ・会員種別 _____ ・所属先 _____
- ・連絡先住所 _____
- ・電話番号 _____ ・Fax. _____
- ・E-mail address _____

—日本化学会秋季事業—第 3 回CSJ化学フェスタ2013 各種募集のご案内

化学フェスタ実行委員会

2013 年 10 月 21 日（月）～ 23 日（水）、タワーホール船堀（東京都江戸川区）において“第 3 回 CSJ 化学フェスタ 2013”を開催します。CSJ 化学フェスタは第 1 回を早稲田大学、第 2 回を東京工業大学で開催し、趣旨の「産学官の交流深耕」をするイベントとして定着してまいりました。今回は規模を拡大し、アトラクティブな企画も多く用意しております。詳細は本紙 8 月号に掲載いたしますので、ご期待下さい。

本号では、1) 学生ポスターセッションの発表募集、2) 産学官 R&D 紹介企画の参加企業募集、3) 広告募集についてご案内します。

なお、化学フェスタには産学官の多くの研究者が一堂に会します。特に近未来に就職を控えた学生諸氏と企業との情報交換につき、化学フェスタはすべての企画において、日本経済団体連合会の「採用選考に関する企業の倫理憲章」の精神を尊重し、その定めるところを厳格に遵守いたします。

記

- 会 期 2013 年 10 月 21 日（月）～ 23 日（水）
- 会 場 タワーホール船堀（東京都江戸川区船堀 4-1-1）
- 実行委員長 多田啓司（旭化成）、加藤隆史（東大院工）
- 重要な日程
 - ポスター発表募集/予稿提出期間 7 月 1 日～ 31 日 詳細は本号
 - 参加予約期間 8 月 1 日～ 9 月 12 日 詳細は本誌 8 月号
 - プログラム公開 9 月 1 日（予定）
 - 予稿集発行日 10 月 1 日（予定）
- 問合せ 日本化学会 企画部 河瀬・美園
電話：03-3292-6163 E-mail: festa@chemistry.or.jp
- ウェブサイト <http://www.csj.jp/festa/>

学生ポスターセッション募集要項

産学交流を促進する大学からの研究発表として、学生ポ

スターセッションを実施します。本セッションは、産業界、アカデミアの審査員が研究に発表者が十分に寄与していること、質疑応答に優れていること、独自性が認められることなどを基準に審査します。また、同会場で「産学官 R&D

紹介企画」が開催され、企業研究者との交流が期待されます。最優秀ポスター発表賞受賞者には副賞の贈呈のほか、「化学と工業」誌への掲載も予定しております。

1. 発表申込について

(ア) 申込期間

2013年7月1日～7月31日

(イ) 申込方法

本大会ウェブサイトの申込フォームからお申し込み下さい。フォームが使用できない場合にはお早めに事務局にご相談下さい。締切日以降は対応できかねますのでご注意ください。

(ウ) 申込完了の確認

発表申込が完了すると、講演1件ごとに発表受付番号とパスワードを発行します。また、申込内容を申込時に入力したE-mailアドレスに通知します。申込者は、発表受付番号が発行されていることと通知が来ていることを必ずご確認ください。通知未着の場合には、必ず事務局までE-mailにてお問い合わせ下さい。期限後のお問い合わせには対応できませんのでご注意ください。

(エ) 採否の決定

申込みいただいた発表の採否及びプログラム編成（発表分野、日時など）は、化学フェスタ実行委員会に一任とします（希望と異なる場合もあります）。

(オ) ポスター番号の通知

申込時に入力したE-mailアドレス宛に通知します。通知未着の場合には、事務局までお問い合わせ下さい。

(カ) 発表申込の取消

発表申込後に発表を取り消すと、プログラム編成に支障をきたします。必ず、発表申込内容に関して指導教員の確認を受けてからお申し込み下さい。理由の如何にかかわらず、講演予稿原稿を提出した後の差し替え、取り下げは認められません。

(キ) 公知

講演予稿集をもって特許における公知日とされる方は、発行日以降権利が6ヵ月保留されることとなります。特許出願の際に必要な発表証明については、下記URLをご参照下さい。インターネットでの公開内容も研究内容の公知に当たります。

<http://www.chemistry.or.jp/application/certificate/research.html>

(ク) 著作権

講演予稿集に記載された内容に関する著作権は、日本化学会に帰属するものとします。したがって本会が必要と認めるときは転載し、また外部からの引用の申請があったときは本会において検討の上、許可することとします。

(ケ) ポスター発表賞

すべてのポスター発表に対して審査を行い、「最優秀ポスター発表賞」、「優秀ポスター発表賞」を授与する予定です。

2. ポスター発表について

(ア) 発表内容と発表者の条件

発表内容は討論に重点を置くため、既発表を含んでも構いません。発表者は、学生に限ります。発表件数は1人1件といたします。

(イ) 発表形式と発表時間

ポスター発表のみとし、発表時間は60分です。ポスターボードのサイズは縦180cm×横120cmの予定です。

(ウ) 登壇料について

発表者には登壇料をお支払いいただきます。登壇料には講演予稿集1部が含まれています。別途参加登録費のお支払いの必要はありません。

区分	料金
学生会員	3,000円
非会員学生	4,000円

登壇料は、8月中旬に登録いただいた連絡先へ請求書・振替用紙を送付いたしますので、必要事項を記入の上、期日までにお支払い下さい。

*登壇料の課税区分は課税です。

(エ) 発表言語

日本語もしくは英語とします。

3. 発表申込分類

ポスター発表の申込分類は以下のとおりです。

1. 物理化学
2. 無機化学・分析化学
3. 有機化学
4. 錯体・有機金属化学
5. 天然物化学・生体機能関連化学・バイオテクノロジー
6. 高分子化学
7. 触媒化学
8. 材料化学
9. 特定テーマ（細目は申込Webに掲載）

4. 予稿原稿

(ア) 提出期間

2013年7月1日～7月31日

※締切期日までに講演予稿原稿の提出がない場合は、講演を中止したものとしますのでご注意ください。

(イ) 作成方法・提出方法

本大会ウェブサイト上にあるテンプレートを利用の上、予稿原稿をA4判用紙1/3程度のPDFファイルを作成下さい。作成後、本大会ウェブサイト上の投稿フォームからご提出下さい。提出の際には、発表申込時に発行される受付番号、パスワードをお使い下さい。

産学官R&D紹介企画 募集要項

産学官R&D紹介企画は、前述のポスターセッションへ発表や聴講で参加する学生をはじめとして、産業界・アカデミアの方々などすべてのCSJ化学フェスタの参加者に対し、産学官それぞれの研究開発アクティビティを相互紹介していただく場です。本企画は例年大変好評で、参加者も増加の一途をたどっております。本年は企業からの研究開発紹介にとどまらず、広く情報発信者を募ります。ぜひこ

の機会を産学官連携による成果増大の一助としてご利用下さい。なお、実行委員会では経団連の倫理憲章を遵守します。

1. R&D セッション (講演)

研究開発の最前線に立つサイエンティスト・エンジニア・マネージャに登壇いただき、大胆な研究開発戦略や個性的な研究の内容から、ひとりの研究者の生きざままで様々な視点より産学官のR&Dに光を当てます。昨年好評を博したテーマは概ね以下の様でしたが、バラエティに富んだ内容が本セッションの特長ですので、これらにこだわることなくどんなユニークな演題でも結構です。「これがうちの面白いところ」「この技術は世界でうちがいちばん」という自慢のネタをぜひアピールして下さい。

1. 戦略・全体像紹介 (研究マネジメント, 研究所・企業の歴史や特長, マーケ・知財戦略)
2. 技術・製品紹介 (技術トピックス事例, 製品やプロセスの成功例, 産学官連携の例)
3. 研究者・人材育成紹介 (女性研究者の活躍, キャリア, 育成法・システム)
4. グローバル展開 (オフショア開発, 外国籍研究者, 技術輸出)

本セッションは、過去の実績より聴講者の70～80%が学生(学部・院)と予想されます。未来の化学を担う世代に、現場の研究開発や生産活動の具体的日常イメージを持ってもらうために、製造プロセス、プロジェクトの場所、メンバー構成などの写真などを盛り込んでご紹介下さい。また、サクセスストーリー中に失敗や挫折、苦勞のエピソードも添えていただくと、よりリアリティが増すと思われる。

例年、本セッションは満席の回が続出の盛況ぶりでしたので、今年度は会場定員を増やして開催の予定です。本セッションは一会場でのみ催行します。

(ア) 日時

2013年10月22日(火)・23日(水)

(イ) 会場

タワーホール船堀内

(ウ) 開催形態

100～150名収容の会場にて30分(予定)の講演を行っていただきます。

(エ) 募集数

20講演を予定しています。1社・1研究所からの異なるテーマの複数講演、日程・時間を変えての同一内容複数回講演も大歓迎です。

(オ) セッション登壇料

60,000円(税別)/1講演(120,000円/2講演, 180,000円/3講演)

※登壇者(1名)は無料でCSJ化学フェスタのすべての企画へご参加いただけます。

※ブース展示と講演の両方にご参加の場合(『産学官R&D展示・セッションパック』)は展示料込で100,000円(税別)です。3名まで無料でご参加いただけます。

※お支払いは申込締切後に請求書を送付いたしますの

で、指定口座へお振り込み下さい。

(カ) セッションプログラム

実行委員会にて全体の構成を勘案してプログラムを決定します。

(キ) 講演機材

会場にはプロジェクター・スクリーン・レーザーポインタ・マイク・RGBケーブルを用意します。投影用のPCは講演者ご自身でご用意下さい。

(ク) 申込方法・申込締切日

E-mailにて貴社名、担当者連絡先を記入の上、festa@chemistry.or.jp宛にお申し込み下さい。

申込締切日：7月末日

2. R&D 展示ブース

研究開発の実際を広く、深くご紹介していただきます。ジェネラルな会社紹介・研究所紹介だけでなく、好調な事業・得意の技術・売れ筋製品など具体的な成功例をアピールして下さい。ポスターのみでなく、実物サンプルやモデルの展示、デモンストレーションやムービーモニタなどの使用もご検討下さい。

1. 研究開発の紹介 (全社・研究所紹介, 研究開発領域, オープンイノベーション紹介など)
2. 技術・製品の紹介 (ヒット製品, 得意ワザ, 自慢のプロセスなど)

例年多くの産学官の研究者やマネージャーたちが集う中、活発なプレゼンテーションや質疑応答が会場中で行われ、化学会年回とは一味違った雰囲気の盛況ぶりです。本年も千差万別な質問と議論が予想されますので、広く戦略的なお仕事をなさっている方と、展示技術・製品に実際に関わる(関わった)研究開発現場の方がペアでブース説明を行われることをお勧めします。

(ア) 日時

2013年10月21日(月)～23日(水)

※21日は13時～18時, 22日・23日は10時～16時(1時間の休憩を含む)

(イ) 会場

展示ホール(学生ポスターセッションと同一会場)の一部の使用の予定です(出展希望数・出展内容により、事前にご相談の上、一部変更の可能性があります)。

(ウ) 開催形態

会場に展示ブース(間口180cm×奥行60cm)を設置します。各日5時間ずつの展示をお願いしますが、説明者のブース常駐は必須ではありません。搬入・搬出は展示時間の前後30分です。

(エ) 募集数

のべ50小間を予定しています。1社・1研究所で複数小間をご利用いただいても結構です。複数日にわたる展示も歓迎いたします。

(オ) ブース出展料

60,000円(税別)/1小間・日(120,000円/2日, 180,000円/3日)

※説明者(2名まで)は無料でCSJ化学フェスタへご参加いただけます。

※『産学官 R&D 展示・セッションバック』は 100,000 円（税別）です。3 名まで無料でご参加いただけます。

※お支払いは申込締切後に請求書を送付いたしますので、指定口座へお振り込み下さい。

(カ) 設備

バックパネル 2 枚、机 1 本、社名板、画鋲を用意します。電源は会場附帯設備を利用するため事前に申請下さい。なお、各社 PC1 台程度の利用を想定しています。

(キ) 小間割

実行委員会にて、申込順、会場の構成等を勘案し、割り当てを決定いたします。複数小間ご利用の場合は、繋げてのご使用とします。

(ク) 申込方法・申込締切日

E-mail にて、1) 出展希望日、2) 電源使用の有無と使用予定機器、3) 貴社名、担当者連絡先を記入の上、festa@chemistry.or.jp 宛にお申し込み下さい。

申込締切日：7 月末日

広告掲載募集要項

実行委員会では、参加者へ配布されるプログラム・予稿集への広告を募集いたします。この機会に貴社の広告掲載を賜りたく、お願い申し上げます。

(ア) 掲載場所・掲載料金

掲載場所	掲載料金
表 2～4・カラー	105,000 円～

サイズは天地 260 × 左右 180 mm、入稿形態は完全データ（出力見本添付）といたします。上記以外の前付ページへの出稿も可能ですのでお気軽にご相談下さい。

(イ) 申込・原稿データ締切日

8 月末日

(ウ) お問い合わせ・お申込先

日本化学会 企画部 瀬田

電話：03-3292-6163 E-mail：festa@chemistry.or.jp

第93春季年会 (2013) 「学生講演賞」及び「優秀講演賞 (学術)」の表彰

第 93 春季年会実行委員会委員長 中條 善樹
学術研究活性化委員会委員長 中村 栄一

本会では若手研究者が各自の研究をまとまった形で発表することによって、その研究のより一層の進展と活性化をはかるとして、第 83 春季年会 (2003) から、従来の講演「A 講演」(講演 7 分、討論 3 分)に加え、「B 講演」(講演 15 分、討論 5 分)を設けております。B 講演の発表資格は「正会員または大学院博士 (後期) 課程に在籍する学生会員」で、このうち優れた研究発表には「学生講演賞」を贈呈していますが、さらに第 86 春季年会 (2006) から新たに受賞年の 4 月 1 日時点で満 36 歳に達していない審査希望者に「優秀講演賞 (学術)」を授与し本会会長名で表彰することいたしました。

「学生講演賞」並びに「優秀講演賞 (学術)」は発表内容、プレゼンテーション、質疑応答などにおいて優れた講演で、講演者の今後の一層の研究活動発展の可能性を有すると期待されるものに対して贈呈するものです。

今年度の第 93 春季年会は去る 3 月 22 日から 25 日までの 4 日間、立命館大学びわこ・くさつキャンパスで開催され、「学生講演賞」は対象の B 講演 351 件の中から 105 件が、「優秀講演賞 (学術)」は対象の B 講演 202 件の中から 40 件が、それぞれ選考されました。選考は次のようにして行いました。

①当該部門のプログラム部門長または編成委員、②プログラム編成委員より推薦された正会員、③講演座長、の 3 名が該当講演を聴講し、採点表をもとに審査しました。その結果をもとに第 93 春季年会実行委員と学術研究活性化委員で構成された選考委員会で選考し、第 93 春季年会実行委員会 (平成 25 年 4 月 18 日開催) で決定しました。

今年度の受賞者は以下のとおりです。これらの受賞者にはその栄誉をたたえ、さらに一層の研鑽を積まれますことを期待いたしまして玉尾皓平 (平成 24 年度会長) 名の表彰状を「学生講演賞」の場合は受賞者の所属機関長を経由し、また、「優秀講演賞 (学術)」の場合はご本人に直接お届けいたしました。

「日本化学会第 93 春季年会 (2013) 学生講演賞」受賞者一覧

【物理化学関係】

(物理化学, 分析化学, コロイド・界面化学, 理論化学・情報化学・計算化学, 有機結晶)
1A7-36 シクロデキストリンとフェロセンとのホスト-ゲスト相互作用を利用した酸化還元応答性超分子ヒドロゲルの作製 (阪大院理) 中畑雅樹 氏
1A8-55 金基板上アゾベンゼン単分子膜の光誘起表面形態変化 (東工大院・総理工) 石川大輔 氏
1G1-30 単層カーボンナノチューブバンドル界面における

分子認識の解析 (九大院工) 柳 鍾泰 氏
1G6-46 低温 Cu(997) 表面における CO₂ の吸着と解離 (東大物性研) 小坂谷貴典 氏
1G6-50 Cu(100) 表面上に吸着した CO の光刺激脱離・拡散の前駆状態 (京大院理) 井上賢一 氏
1G6-52 ヘテロダイン検出電子和周波発生による中性脂質/水界面の pH の定量的評価 (理研) KUNDU Achintya 氏
2A6-28 プラズモン共鳴を利用した単一銀ナノ粒子の色と形態の制御 (東大生研) 田邊一郎 氏